

平成27年度十和田市文化に関する表彰

『文化功労賞』は、永年にわたり文化の向上発展に貢献し、その功労が特に顕著であるかた、『文化奨励賞』は、優れた文化の創造および普及活動を続け市民の文化向上に寄与したかたに贈られます。

✦文化功労賞



ますだて しゅうこう
舩館 修好さん
(68歳・米田字北野)

南部駒踊米田保存会発足当時から会員として参加し、県外においても精力的に演技活動を行いつつ、後継者の育成に努め地域の伝統文化の継承に大きく貢献した。(活動歴49年)



たかやま たえこ
高山 妙子さん
(高山 妙蘭)
(74歳・西十四番町)

(公財)煎茶道方円流の指導教授として国内外の茶会に参加するとともに、長年にわたり公民館講座や市民茶会などを通じて市民への煎茶道の普及、発展に尽力した。(活動歴40年)



はまだ とみこ
浜田 登美子さん
(81歳・穂並町)

コールアゼリアの役員として歌声で市民を元気づけるよう研さんを続け、市内外のコーラスグループとも積極的に連携し、合唱による文化発信に大きく寄与した。(活動歴30年)



ほらない いさお
故 洞内 勲さん
(享年86・洞内字向)

太鼓の師匠として南部洞内神楽と洞内南部駒踊の普及に当たるほか、地元小中学生の育成や演技指導に尽力し、伝承と保存活動において多大な貢献と功績を残した。(活動歴72年)

✦文化奨励賞



かみむら あゆこ
上村 鮎子さん
(44歳・西二十二番町)

カントリーラインダンスの普及に尽力し、国内の大会でその振付は高い評価を得ている。また、優れた乗馬技術により、各地で流鏑馬の指導、協力を行っている。今後の更なる活躍が期待される。(活動歴22年)



きたかみ かなこ
北向 加奈子さん
(北向 光加)
(61歳・東二十四番町)

現代美術家協会現展に連続入選を果たし、現展準会員として都内を含め積極的に個展を開催している。華道の技術を絵画に表現し、有望な画家として今後の更なる活躍が期待される。(活動歴23年)



めとぎ ひろこ
目時 比呂子さん
(70歳・西四番町)

新樹俳句会会員、青嶺俳句会同人として俳句を発表、多くの大会で入賞を果たし、その斬新で個性的な作風は注目を集めている。今後の更なる活躍が期待される。(活動歴10年)



ささき いし
佐々木 イシさん
(佐々木 松雅)
(73歳・西六番町)

青山御流いけはな(生け花)の華道教授として、数多くの優れた作品を出瓶し、大作である式典花も高い評価を得ている。子どもへの指導にも尽力し、今後の更なる活躍が期待される。(活動歴21年)



こばやし よしこ
小林 芳子さん
(75歳・三本木字里ノ沢)

すばる俳句会に所属し、全国および県内の大会において多数の好成績を収め、俳句への意欲的な研さんと真摯な姿勢は他の会員の模範となっており、今後の更なる活躍が期待される。(活動歴14年)

平成27年度十和田市褒賞

公共の福利増進に功労があったかたや、広く市民の模範となるかたをたたえるものです。

商工業の振興発展に貢献

昭和43年に、菓子舗を創業以来、菓子を通じて尊敬される商人、地域に貢献する商人を経営方針として掲げ、本市の食産業と人材育成に大きく寄与した。

平成7年に、十和田菓子組合長に就任し、20年余りにわたり組合長として、菓子に関する製造技術の普及・向上に努めるほか、自身の菓子製造・販売業においては、商品名に「十和田」、「青森」を使用することで、本市、本県を全国に向けPRするとともに、地元産のそば粉、りんご、米粉などを積極的に用い、米粉を使ったチーズケーキは、ご当地スイーツ選手権において2年連続でグランプリを受賞し、十和田市の名を全国に知らしめるなど、本市の産業振興、菓子製造の振興に大きく貢献した。

また、自身の会社で製造したクリスマスケーキを40年にわたり、少年院に寄贈するなど、慰問活動を通じ、青少年健全育成に取り組んでいる。



おたけ まさみ
大竹 正美さん
(72歳・東一番町)

保健医療の振興発展に貢献

昭和57年に、医院を開業以来、医師として地域住民の診療に当たりながら、医師会、市および消防署との連携協力のもと、市民が安心して休日や夜間に救急医療を利用できる体制づくりに力を注ぎ、現在も在宅当番医を務めるなど、本市の救急医療体制の構築に大きく寄与した。

平成10年に、十和田地区医師会長に就任し、17年余りにわたり医師会長として医学の発達、普及と公衆衛生の向上、医療機能の分担と連携を進めるため「かかりつけ医」制度の推進に努めるほか、医療現場の声を反映させるために十和田市生涯健康づくり推進協議会の4つの各部会に医師を推薦するなど、市民の健康づくりの総合的かつ効果的な推進に向け、先導的な役割を果たし、医師会一丸となって取り組んでいる。

また、学校医として、児童の健康診断に従事し、学校伝染病の予防に必要な指導、助言を行うなど、本市の地域医療、保健の発展向上に大きく貢献した。



こじま やすひこ
小嶋 泰彦さん
(72歳・西三番町)

商工業の振興発展に貢献

昭和47年に、電子機器工場を新設以来、一貫して地元雇用の促進を心掛け、近隣高校や地元出身の大学卒業者の採用拡大に努めるなど、電子機器産業の振興を図るとともに地域振興の推進を図り、本市の商工業の発展と人材育成に大きく寄与した。

平成9年に、一般社団法人青森県工業会理事に就任し、18年余りにわたり技術力の向上、産学官金連携の推進、次世代を担う工業界の人材育成に努めるほか、自身が所属する事業企画運営・交流委員会において、県知事との意見交換、工業関連業界の発展に向けた長期ビジョンの策定を行うとともに、県内外における先進地域との地域間交流を促進するなど、本市はもとより本県工業の発展向上に尽力した。

また、産業界の次世代を担う青少年の創造性を開発、育成するため、本市および本県の発明協会に所属し、活動を支援するなど科学技術の振興と産業の発展に大きく貢献した。



こまつたけし ひさし
小松崎 壽志さん
(79歳・西一番町)